



平成26年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ウイズ
コード番号 7835 URL <http://www.wizinc.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横井昭裕
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 大関浩一
四半期報告書提出予定日 平成26年1月14日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-3534-3180

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第2四半期の連結業績(平成25年6月1日～平成25年11月30日)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第2四半期	642	△34.0	△191	—	△188	—	△188	—
25年5月期第2四半期	972	△7.3	△75	—	△71	—	△72	—

(%表示は、対前年同四半期増減率)

(注) 包括利益 26年5月期第2四半期 △186百万円 (—%) 25年5月期第2四半期 △74百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第2四半期	△61.10	—
25年5月期第2四半期	△23.55	—

(注) 当社は、平成24年12月1日を効力発生日として、1株につき100株の割合で株式分割をおこなっておりますので、前連結会計年度の期首に当該株式分割がおこなわれたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年5月期第2四半期	2,410	1,244	51.6	403.79
25年5月期	2,315	1,430	61.8	464.27

(参考) 自己資本 26年5月期第2四半期 1,244百万円 25年5月期 1,430百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年5月期	—	0.00	—	—	—
26年5月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年5月期の連結業績予想(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,650	△24.5	△100	—	△100	—	△103	—	△33.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年5月期2Q	3,081,600 株	25年5月期	3,081,600 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年5月期2Q	— 株	25年5月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年5月期2Q	3,081,600 株	25年5月期2Q	3,081,600 株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 当社は、平成24年12月1日を効力発生日として、1株につき100株の割合で株式分割をおこなっておりますので、前連結会計年度の期首に当該株式分割がおこなわれたと仮定して株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や金融政策等の影響等により、円安、株高が進行しました。また、個人消費も堅調に推移し、企業の設備投資等も底打ちの兆しを見せ始め、回復傾向にあります。しかしながら、ここ数年、世界経済のけん引役であった新興国の成長鈍化や今後予定されている消費税増税の影響等を考慮すると不透明な部分も残されています。

このような状況のもと、玩具市場は、個人消費が改善傾向にあり、前年同期に比べて堅調に推移しているものの、一部の人気キャラクター関連商品及び定番商品の販売等を除いては全体的に低調に推移し、厳しい状態にあります。

当社グループは、このような厳しい業界環境を考慮し、前連結会計年度に引き続き、当連結会計年度も固定費の削減に努め、通期の黒字化を達成するとともに、将来に向けた事業組織の基盤の再構築をおこなっております。

当第2四半期連結累計期間における業績は、「たまごっち」、「プリキュア」シリーズを含めた主力OEM製品シリーズ等は計画に対し、堅調に推移しましたが、その他新規OEM製品につきましては計画を下回ることとなりました。また、上半期の売上予算の多くを占めておりましたオリジナル商品販売等は、「イエギンチャク」シリーズ、「ゴミントルわんこ」シリーズ、「富士山バンク3776」シリーズ等を発売し、積極的に販売に努めましたが、最大の商戦期である年末・クリスマス商戦に向けた出荷が低調に推移しました。その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、6億42百万円（前年同期比34.0%減）となりました。

利益面においては、営業損失は1億91百万円（前年同期は75百万円の営業損失）、経常損失は1億88百万円（前年同期は71百万円の経常損失）、四半期純損失は1億88百万円（前年同期は72百万円の四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

＜資産、負債及び純資産の状況＞

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ94百万円増加し、24億10百万円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が1億89百万円、原材料及び貯蔵品が11百万円減少した反面、現金及び預金が3億19百万円増加したことによるものであります。

負債は、2億81百万円増加し、11億66百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が25百万円減少した反面、長期借入金（一年以内返済予定を含む）が3億45百万円増加したことによるものであります。

純資産は、1億86百万円減少し、12億44百万円になりました。これは主に当第2四半期連結累計期間の四半期純損失計上による利益剰余金の減少1億88百万円によるものであります。

＜キャッシュ・フローの状況＞

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末と比べ3億19百万円増加し、13億15百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は31百万円となりました（前年同期は65百万円の使用）。これは売上債権の減少額が1億89百万円となる等、資金の増加要因はありましたが、税金等調整前四半期純損失が1億88百万円、仕入債務の減少額が25百万円であったことなどによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は4百万円となりました（前年同期は35百万円の獲得）。これは投資事業組合からの分配金による収入が4百万円あったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は3億44百万円となりました（前年同期は1億26百万円の使用）。これは長期借入金の返済による支出が1億4百万円となる等、資金の減少要因はありましたが、長期借入による収入が4億50百万円であったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況等を勘案し、平成25年12月25日に平成26年5月期の通期業績予想を修正しております。詳細につきましては平成25年12月25日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度においては当期純利益を計上しておりますが、前々連結会計年度まで2期連続して当期純損失を計上するとともに、当第2四半期連結累計期間においても営業損失1億91百万円、経常損失1億88百万円、四半期純損失1億88百万円を計上しております。これらの状況により、当社には継続企業の前提に関する重要事象等が存在しており、当社グループは当該状況を解消すべく、次のような取り組みを実施しております。

① 売上高の拡大

OEM製品販売においては、組織の効率化・最適化を図るとともに、顧客企業との連携を密にし、「たまごっち」及び「プリキュア」シリーズ関連製品を中心として、その他の新規商材及び新規顧客についても積極的に受注活動をおこない、売上高の拡大を目指しております。また、オリジナル商品販売においては、当社グループの今後の成長・発展の中心と位置づけ、そのため一層の経営資源の集中をおこない、的確な流行の把握及び販売時期の判断等のもと、売上高の増加に結びつけるべく継続的かつ積極的に取り組んでまいります。

② 固定費の削減

固定費の削減につきましては、引き続き積極的に努めてまいります。

③ 資金繰りへの対応

現在の事業方針から、投資及び出資について多額の支出を伴う資金需要が発生しないため、現状の現金及び現金同等物の残高にて、当面の間の運転資金及び借入金の返済等が十分に賄える予定であります。また、資金調達につきましては、金融機関を中心とした手当により当面問題はないと認識しております。

なお、当社は、一部の金融機関より長期借入金として資金を調達しており、この借入金には以下の財務制限条項が付されていますが、現時点で当該条項に抵触する状態ではありません。

- ・事業年度末日現在の当社の純資産額が1,237,800千円以下とならないこと
- ・事前承認なしに、当社が第三者（当社の代表者、子会社等を含む。）に対して新たな貸付け出資または保証をおこなわないこと

以上により、当社グループは、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,046,146	1,365,664
受取手形及び売掛金	436,635	246,669
商品及び製品	32,091	54,359
仕掛品	23,534	16,108
原材料及び貯蔵品	61,428	49,874
その他	53,610	24,653
流動資産合計	1,653,447	1,757,329
固定資産		
有形固定資産	43,453	38,439
無形固定資産	2,787	2,299
投資その他の資産		
投資有価証券	518,310	518,823
その他	97,928	93,800
貸倒引当金	△311	△311
投資その他の資産合計	615,926	612,312
固定資産合計	662,167	653,051
資産合計	2,315,614	2,410,380
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	65,989	40,986
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	195,040	345,615
その他	103,740	72,953
流動負債合計	464,770	559,555
固定負債		
長期未払金	265,526	265,526
長期借入金	91,200	285,830
退職給付引当金	61,887	54,030
その他	1,544	1,105
固定負債合計	420,158	606,492
負債合計	884,929	1,166,048
純資産の部		
株主資本		
資本金	555,235	555,235
資本剰余金	587,435	587,435
利益剰余金	294,150	105,873
株主資本合計	1,436,820	1,248,543
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	350	537
為替換算調整勘定	△6,485	△4,748
その他の包括利益累計額合計	△6,134	△4,211
純資産合計	1,430,685	1,244,332
負債純資産合計	2,315,614	2,410,380

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)
売上高	972,779	642,485
売上原価	643,905	461,341
売上総利益	328,874	181,143
販売費及び一般管理費	404,804	372,860
営業損失(△)	△75,930	△191,717
営業外収益		
受取利息	148	132
受取配当金	1,127	505
為替差益	7,761	6,476
持分法による投資利益	266	222
その他	68	—
営業外収益合計	9,372	7,337
営業外費用		
支払利息	4,913	3,615
その他	—	26
営業外費用合計	4,913	3,642
経常損失(△)	△71,471	△188,022
特別損失		
固定資産売却損	77	—
固定資産除却損	54	26
特別損失合計	132	26
税金等調整前四半期純損失(△)	△71,603	△188,049
法人税等	973	227
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△72,577	△188,276
四半期純損失(△)	△72,577	△188,276

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△72,577	△188,276
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	235	186
為替換算調整勘定	△2,272	1,736
その他の包括利益合計	△2,037	1,923
四半期包括利益	△74,614	△186,353
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△74,614	△186,353

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△71,603	△188,049
減価償却費	8,323	6,032
組合等受入損益(△は益)・純額	△67	△112
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△363	△7,856
受取利息及び受取配当金	△1,276	△637
支払利息	4,913	3,615
為替差損益(△は益)	△592	△695
持分法による投資損益(△は益)	△266	△222
固定資産除売却損益(△は益)	132	26
売上債権の増減額(△は増加)	20,883	189,965
たな卸資産の増減額(△は増加)	△97,638	△3,286
仕入債務の増減額(△は減少)	80,978	△25,002
その他	△6,023	3,718
小計	△62,601	△22,503
利息及び配当金の受取額	1,276	637
利息の支払額	△4,823	△3,873
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	437	△5,538
営業活動によるキャッシュ・フロー	△65,710	△31,278
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△708	—
有形固定資産の売却による収入	222	—
敷金及び保証金の回収による収入	35,983	—
投資事業組合からの分配による収入	—	4,898
投資活動によるキャッシュ・フロー	35,496	4,898
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	450,000
長期借入金の返済による支出	△125,730	△104,795
その他	△424	△448
財務活動によるキャッシュ・フロー	△126,154	344,756
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,673	1,140
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△158,041	319,517
現金及び現金同等物の期首残高	1,200,279	996,146
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,042,237	1,315,664

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

該当事項はありません。